

善福寺

東京都港区元麻布

平安時代、天長元年(824)、唐で真言宗を極めて帰国された弘法大師は、関東一円に真言宗を広めるため、西の高野山に模して東に麻布山善福寺を開山されました。

鎌倉時代、親鸞聖人が稲田より上洛の途中、善福寺を訪れた際、迎えた海上人は聖人の高德に導かれ一山を上げて浄土真宗に改宗しました。

また、善福寺は二度に渡る蒙古軍来襲に際して、亀山天皇の勅願寺となりました。

江戸末期、初代米国公使館としてタウンゼント・ハリス公使らの宿舎ともなりました。

善福寺は、千余年の古い歴史を受け継ぐお寺です。



善福寺 本堂外観

善福寺・イチヨウの木

寛喜元年、善福寺に巡行された親鸞聖人が、去るにあたって杖を境内の地上にさし、「念仏の、求法凡人の往生もまたかくの如きか」と言ったとき、不思議にも杖に根が生え、芽を吹き出し枝葉を広げるに至ったという伝承があります。

樹齢は約八百年余り。都内最古の古木として、国指定の天然記念物です。



善福寺 イチヨウの木

